

校長室だより

令和元年度 第2号
2019年7月19日発行

1 学期を振り返って

校長 大野 淑子

今日で1学期が終了です。4月8日にスタートして、授業日は68日になります。今学期の終わりにあたり、江東中学校が掲げる三つのくめざす生徒像から、少し振り返ってみたいと思います。

まずよく考え、自分からものごとに取り組む生徒ですが、生徒たちは1学期間途切れることなく「自学ノート」に取り組みました。配付されるプリント等も活用し、自分で内容を考えたり選んだりしながら取り組んでおり、自分で考えて取り組む学習の習慣化、内容の充実など、少しずつ向上しています。また、本校生徒の学力面では、基礎的基本的事項の定着は比較的良好な方向にあります。それを活用し課題解決に向けて考え表現していく力に弱みが見えています。そこで本年度は、全授業を通して、「理由や根拠を上げて自分の考えを伝えていく活動」を重視し、そのような学習場面を意図的に増やしています。<↓2年社会:班の考えを伝える>



次に「認め合い、つながり合って、ともに伸びる生徒」についてですが、ここでは生徒会活動に触れたいと思います。「躡進(ばくしん)団結して突き進め」をスローガンに挙げて取り組んでいますが、本年度は新たに各専門部が順番に担当しながら「全校活動」を企画運営しています。これまで一緒に育ってきた仲間ですが、

改めて気持ちをつなぎ合い、手を強くつなぎ合っていこうという趣旨で、みんなが楽しめる企画の立案運営、つまり全校を動かす側と、準備してもらったことをやる側を全校生徒が体験します。その両方の立場を経験しながら、当日の活動をみんなで盛り上げ楽しむ、という一連の活動の中で、互いの立場に思いをはせることの大切さ、みんなで一つのことに取り組みよりよい活動にしていくことの大変さと面白さ、そのようなことに気づきながら1学期、2回の全校活動が終了しました。

また、先日開催された校内少年の主張大会では、6人の代表たちそれぞれが日常に取材し、自分の変化や成長、周りの人たちへの感謝等を述べました。発表者の真剣な堂々とした態度はもちろんのこと、聴衆である生徒たちの、ピシッと背を伸ばし、発表者の言葉を心で受け止めている姿、態度もまた大変立派でした。自分の考えを伝えていこうとする態度、他者(の意見)をわかろうとする態度、嬉しい姿でした。

そして三つ目のくよりよい生活を創り出そうとする生徒では、3年生がふるさと・キャリア学習で、市教委社会教育課や市政企画課、都市計画課、子育て支援課などの皆さんから江津市の現状と課題について知り、その課題解決に向けた具体策を中学生の視点から考えていくという学習を行いました。今後は全学年とも、活動がより広がっていきます。ご協力ご支援、よろしくをお願いします。<↓3年総合的な学習の時間>

